

Field Report

提案の幅がさらに広がる新型ハンドルと“オールインワン”替ブラシ



北海道札幌市
北24条かやの歯科クリニック
歯科衛生士・クリニックマネージャー
菅野 美帆

—新発売「プロテクトクリーン4700 プロフェッショナル」(以下「4700」: 図1)の印象はいかがでしたか

「4700」ではガムケアモードが追加されましたが、このモードはクリーンモードよりブラッシング時間が1分長くなります。朝は忙しいですからクリーンモードで2分間サッと磨く、夜はガムケアモードで歯肉にも当てながら丁寧に磨くといったことが可能になり、指導の幅が広がると感じました。

—過圧防止センサーも搭載されました

ブラッシング圧は無意識的な習慣からきているので、今の磨き方が強いのか、それとも毛先がほとんど当たっていないのか、指導する側にもどの圧が正しいかとても分かりにくいんです。それをブラシのセンサーが知らせてくれば、患者さん自身で「この圧は強いんだ」と実感してもらえますよね。

その機能がソニックケアをお薦めする大きなメリットの一つになっていましたから、今回新たに歯科専売のエントリーモデルとしてラインナップされた「4700」にも搭載され、とても嬉しく思っています。

—3種類のハンドルはそれぞれどのようにお薦めしておられるのでしょうか

ソニックケアをお薦めするのは、手磨きではプラークコントロール不良が改善されないケースが多いのですが、その場合には、もっとも安価なものからお薦めしています。というのも、そもそもプラークコントロール不良の方はデンタルIQが高くないことが多く、そういう方にハイグレードモデルをお薦めしても口腔改善のスイッチが入りにくいからです。そういう方は「いかに簡単に磨けるか」が重要ですから、モード選択もシンプルな方がベターで

す。そういったケースや初めて電動歯ブラシをお使いになる方に「4700」は3種類のハンドルの中で最も低価格なのでお薦めしやすいモデルだと思います。

—ハイグレードの場合いかがでしょう

これまで手用ブラシを丁寧にお使いで、ブラッシング時間もかけている方が、「今よりもっとキレイに磨けるようになりたい!」と感じた際にセルフケアグッズのバージョンアップとして、「4700」よりもさらに細かいモード選択が可能な「プロテクトクリーンプロフェッショナル」や「ダイヤモンドクリーンスマートプロフェッショナル」をお薦めします。その理由として、患者さんの口腔衛生意識がもともと高く、より患者さんの口腔に合うモードの選択が可能という点が患者さんのニーズと一致するからです。



図1 「プロテクトクリーン4700 プロフェッショナル」。



図2 「プレミアム オールインワンブラシ」。中央の毛束には角度が付けられ様々な方向からプラークを除去。



図3 35歳男性。全顎にプラークが付着し、初期カリエスも多発、歯肉の発赤も認められる。喫煙による着色も見受けられ、とくに下顎前歯部の舌側の汚れが目立つ。

—続いて「プレミアム オールインワンブラシ」(以下「オールインワンブラシ」: 図2) について伺います。このブラシは特殊な形状をしています。使用前の印象はいかがでしたか

変わった形ですね。まず外周の毛と中央の毛束の長さが結構違うなと思いました。特にオレンジ色の部分ですね。他のブラシの場合、面は一定していますが、「オールインワンブラシ」の場合、外周の毛と真ん中の毛束は少し分かれているようなイメージがあって、「歯面に当てたらどんな感じなんだろう」と興味津々でした。

—お使いいただいていたか

今までは「面で当たる」タイプのブラシが多かったんですが「オールインワンブラシ」では柔らかい外周の毛が歯を包み込むように磨いてくれる感覚があってびっくりしました。まさに歯全体が覆われているようなイメージです。とにかく外周の毛束がとても優しい

です。その柔らかい毛質が長く植毛されているので、曲面や歯間部、咬合面方向に歯面を包みこむように感じて当たりが優しく気持ち良かったです。私はこのヘッド好きです!

—外周の長い部分は歯面というより歯頸部に当たりますか

歯頸部のほか歯肉にも当たります。ヘッドの大きさもあるので、柔らかい外周の毛が歯頸部や歯間部にも入り込んで、一歯一歯にしっかり覆ってくれます。硬い毛質だと歯肉に当たって痛みを訴える方もいらっしゃいますが、外周の毛束がソフトな「オールインワンブラシ」を使えば、外周の毛束が優しいので、重度のペリオの方にも痛みなく使っていただけるかもしれないと感じました。それぐらい気持ちよかったです。今までの中でいちばん気持ちいいと感じるブラシでした。

—オールインワンブラシのお薦め方

法についてアドバイスをお願いします

セルフケア指導の際には、患者さんと施術する私たち歯科衛生士側の要望をいかに合致させていくかがとても大きなポイントです。

例えば、患者さんの要望はステイン除去、私たちはブラークコントロールと歯周病の改善という場合なら、ブラシは歯肉ケア、ステイン除去どちらも期待できる「オールインワンブラシ」を選択します。そしてまずは「Haguki Plus PRO」(ライオン歯科材)のような歯周病予防歯磨剤を使用しただけ、口腔内の改善がみられたら「Brilliant more W」(ライオン歯科材)のような美白効果が期待できる歯磨剤に変更します。口腔内改善を図りながら、患者さんの要望も取り入れた指導をすることで患者さんのモチベーションアップにもつながり、指導の幅が広がるのです。ぜひ今後の指導の参考にしてみてください。



図4 「オールインワンブラシ」を使ってステイン除去とブラークコントロール改善を目指すことにした。

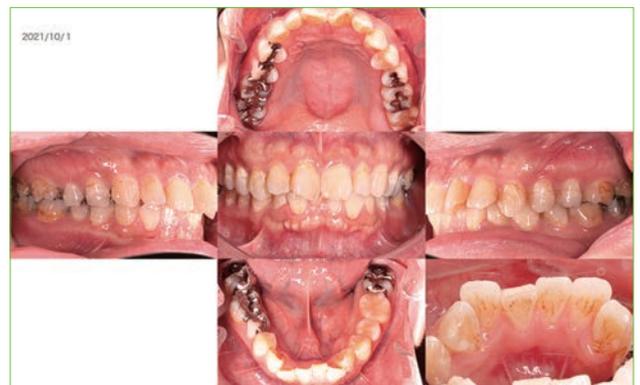


図5 約2週間後の口腔内の状態。



図6 約1ヵ月後の口腔内の状態。気になる下顎前歯部舌側、上顎前歯部唇側の着色は概ね除去できた。臼歯頬側、上顎前歯歯頸部のブラークコントロールが特に良好になった。



図7 患者さんからは「ブラシ外側の毛束の歯肉への当たり方がやさしいので、歯と歯肉の境目までしっかり毛先を当てることができた」との感想をいただいた。